

## 公衆衛生看護展開論

|              |                                 |        |                     |
|--------------|---------------------------------|--------|---------------------|
| 責任者・コーディネーター | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授               |        |                     |
| 担当講座・学科(分野)  | 地域包括ケア講座、災害・地域精神医学講座、衛生学公衆衛生学講座 |        |                     |
| 対象学年         | 3                               | 区分・時間数 | 講義 6時間<br>演習 16.5時間 |
| 期 間          | 後期                              |        |                     |
| 単 位 数        | 1単位                             |        |                     |

### ・学修方針（講義概要等）

地域看護学展開論で学んだ地域における多様な保健活動について、発達段階別、健康課題別の具体的な保健活動の課題と施策、そして活動を展開する方法について実践的に学ぶ。また、学校保健、産業保健については、その保健活動の特性を理解し、学校、産業における保健活動の展開方法について学修するとともに、看護職の役割について理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

母子・成人・高齢者といった発達段階別、精神・障害児・感染症の健康課題別、学校・産業といった活動の場別の保健活動の実際について講義を受け理解できる。さらに、健康診査等の場で行う保健指導の場面の演習を経験することで、対象者の理解の仕方、保健指導の進め方を具体的に考えることができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 6, 7, 8

### ・到達目標（SBO）

1. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野における健康課題を整理できる。
2. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野における保健活動の展開方法を説明できる。
3. 母子・成人・高齢者の対象別の演習の中で、対象を理解し支援する方法を検討できる。
4. 学校・産業の活動の場において、対象の置かれている状況を社会的要因と関連させて考えられる。
5. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野において、対象者を支援するために必要な多職種・多機関を説明できる。

・授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室、(矢) マルチ 3-B 実習室

【講義・演習】

| 月日<br>(曜)<br>時限    | 講座(学科)<br>担当教員  | 授業内容/到達目標   |
|--------------------|---|---|
| 8/24<br>(木)<br>2 限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教  | 母子保健活動 1<br>・乳幼児の成長・発達について観察方法を用いてアセスメントできる<br>・乳幼児各期の成長発達に合わせた保健指導の実際を理解できる。<br><br>事前学修：教科書（対象別公衆衛生看護活動）P.18-27 を読み、産後の母親の生活をイメージし、乳幼児の身体発育の評価方法および乳幼児期の運動・言語・社会性の発達について復習しておく。 |
| 8/24<br>(木)<br>3 限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教  | 母子保健活動 2<br>・乳幼児健康診査における保健師の役割を理解する<br>・歯科保健における保健指導（う蝕予防）を説明できる  |
| 9/11<br>(月)<br>2 限 | 地域包括ケア講座<br>岩渕 光子 教授<br>藤原 弥生 助教<br>松岡 真紀子 助教<br>藤澤 純子 助教<br>赤井 純子 助教 | 母子保健活動 3 乳幼児健康診査の実際<br>・問診・身体計測が実施できる。<br>・結果からアセスメントし、指導内容が整理できる。<br>・3 歳児健診の視力・聴力の測定の意義を説明できる。<br><br>事前学修：提示された月齢（年齢）の成長発達および身体計測時の留意点について復習しておく。                              |
| 9/12<br>(火)<br>2 限 | 災害・地域精神医学講座<br>赤平 美津子 特命助教  | 災害精神保健医療活動<br>・災害各期の地域精神保健医療活動の特徴を説明できる<br>・東日本大震災の被災地で展開する包括的なこころのケア活動や、災害精神医療活動（DPAT）などの災害精神保健活動の方法を説明できる。  |
| 9/12<br>(火)<br>4 限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教  | 成人保健活動<br>・特定保健指導を想定し、良い生活習慣に行動変容するための保健指導方法を工夫できる<br>事前学修：地域看護学方法論「健康相談演習」の内容を復習しておく。  |
| 9/13<br>(水)<br>3 限 | 地域包括ケア講座<br>松岡 真紀子 助教   | 学校保健活動 1<br>・学校教育における学校保健計画・学校安全法等の制度・学校内での組織的な取り組み体制を捉え、養護教諭の職務・役割を説明できる   |

|                   |                        |   |
|-------------------|------------------------|---|
| 9/13<br>(水)<br>4限 | 地域包括ケア講座<br>松岡 真紀子 助教  | 学校保健活動2<br>・年齢に応じた発達段階を理解し、その発達課題および健康課題に対応する保健室経営あり方を説明できる   |
| 9/14<br>(木)<br>2限 | 衛生学公衆衛生学講座<br>田鎖 愛理 講師 | 産業保健活動1 産業保健における健康課題と対策<br>・産業保健の動向と健康課題及び対策について説明できる   |
| 9/15<br>(金)<br>2限 | 地域包括ケア講座<br>松岡 真紀子 助教  | 学校保健活動3<br>・特別な支援を必要とする子ども（慢性疾患・アレルギー、いじめ・不登校・児童虐待等）に対応するための養護教諭の役割と、学校内外の関係職種・機関を説明できる   |
| 9/15<br>(金)<br>3限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教   | 障害児保健活動<br>・早期発見・早期療育の必要性を説明できる<br>・多機関が連携した支援内容について説明できる<br>・地域で行われる包括的な支援の方法を説明できる。<br><br>事前学修：発達障害の種類と特徴を復習しておく。                                |
| 9/15<br>(金)<br>4限 | 地域包括ケア講座<br>松岡 真紀子 助教  | 高齢者保健活動（虐待事例）<br>・要介護高齢者やその家族と地域包括支援センター保健師の役割について説明できる。<br>・虐待の疑いのある要介護高齢者とその介護家族に対するアセスメントの視点について検討することができる。<br><br>事前学修：高齢者虐待防止法における対応の流れを復習しておく |
| 9/20<br>(水)<br>2限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教   | 産業保健活動2<br>・職場における生活習慣病対策について説明できる<br>・職場におけるメンタルヘルスケア、ストレス対策について説明できる  |
| 9/20<br>(水)<br>3限 | 地域包括ケア講座<br>赤井 純子 助教   | 産業保健活動3<br>・産業保健における看護活動（個別的、集団的、組織的）の展開を説明できる<br>・産業保健活動における看護職の役割について説明できる  |
| 9/21<br>(木)<br>2限 | 地域包括ケア講座<br>岩淵 光子 教授   | 感染症保健活動1<br>・健康危機管理の定義・分類を説明できる<br>・平常時の感染症予防活動を説明できる<br>・感染症集団発生時の保健活動を説明できる<br><br>事前学修：感染症法に基づく支援の流れを復習しておく。                                     |

|                   |                      |  |
|-------------------|----------------------|--|
| 9/21<br>(木)<br>3限 | 地域包括ケア講座<br>岩渕 光子 教授 | 感染症保健活動2<br>・結核患者の動向と感染症法による結核対策の体系を説明できる<br>・DOTSの目的・実施方法を説明できる |
|-------------------|----------------------|--|

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

|   | 書籍名                      | 著者名                  | 発行所       | 発行年  |
|---|--------------------------|----------------------|-----------|------|
| 教 | 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版 | 松田 正己 他              | 医学書院      | 2018 |
| 教 | 公衆衛生看護学.jp 第5版           | 荒賀 直子 他編             | インターメディカル | 2020 |
| 教 | 国民衛生の動向 2022/2023        | 厚生労働統計協会             | 厚生労働統計協会  | 2022 |
| 教 | 母子健康手帳                   | 岩手県保健福祉部子ども子育て支援課(監) | 吉田印刷      | 2023 |
| 参 | 新版 保健師業務要覧 第4版 2022年版    | 井伊久美子 他編             | 日本看護協会出版会 | 2022 |
| 参 | 公衆衛生がみえる 2022-2023       | 医療情報科学研究所(編)         | メディックメディア | 2022 |

・成績評価方法

定期試験 90%および授業内での課題 10% にて評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、既習の関連科目の復習をした上で授業に臨むこと。演習では、ロールプレイ等を行うことから、演習前には、関連する教科書および配布資料を読み、学修のポイントを理解した上で臨むこと。授業で得た知識・技術が公衆衛生看護学実習で活用できるよう、授業終了後は主体的に自己学修を行い、ノートに整理すること。事前事後学修に最低30分以上の時間を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

- ・レスポンスカード等については、次の授業で適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。
- ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

保健師(別表1)：公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称             | 台数  | 使用目的                     |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 講義   | プロジェクター (VPL-FW60)   | 1   | 講義用スライド投影                |
| 演習   | 書画カメラ (P-100)        | 1   | 講義用資料投影                  |
| 演習   | 幼児肥満度計算尺             | 5   | 幼児の成長を評価する道具の使用技術修得のため   |
| 演習   | 小児発達検査用具一式           | 1   | 幼児の発達を評価する方法の理解のため       |
| 演習   | 乳児実習モデル              | 4   | シミュレーターを活用した身体計測技術の修得のため |
| 演習   | 乳児用体重計・乳児用身長計・メジャー   | 4   | 乳児の身体計測技術の修得のため          |
| 演習   | 離乳食フードモデル (初期・中期・後期) | 3期分 | 離乳食の進み方を理解するため           |
| 演習   | 離乳食用食器               | 一式  | 離乳食の作り方・与え方の理解のため        |